

2023年8月17日



同グループは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

## “なんかい”ちょうしに！ 銚子電気鉄道は、南海電気鉄道の 2200 系車両を譲受しました

銚子電気鉄道(代表:竹本 勝紀、以下「銚子電鉄」)は、安定輸送の実現および新たな観光資源の発出を期待し、南海電気鉄道(社長:岡嶋 信行、以下「南海電鉄」)が所有する「2200 系車両」を、8月15日に譲受しましたのでお知らせいたします。

銚子電鉄では安定した輸送を提供すべく、3000 形導入以降、銚子電鉄を走行できるスペックの車両を探しておりましたが、合致する車両は数少なく、車両導入の検討については困難を極めておりました。そのような中、銚子電鉄と南海電鉄で、銚子電鉄を運行できる可能性がある車両を検討した結果、「南海電鉄 2200 系車両であれば、改造することにより運行可能である」という結論に達し、今回の車両譲受が実現いたしました。

銚子電鉄にとっては、約 8 年ぶりの新車両(中古車)の導入で、中古車の導入(中古の中古でない車両)は、約 30 年ぶりです。

なお、今回譲受した車両は、走行に必要な改造工事を施工した後に運用開始いたしますが、開始時期については未定です。南海電鉄と銚子電鉄は、2200 系車両を新たな銚子電鉄のフラッグシップトレインとして皆様から愛される車両とするべく、今後さらなる連携を深めてまいります。

1. 銚子電鉄が南海電鉄から譲受した車両  
2200 系車両(車両番号:モハ 2202—モハ 2252 の 2 両編成)
2. 2200 系車両について  
1969 年に 22000 系車両として製造され、橋本以南の山岳区間を含めた高野線で運用された後、ワンマン化改造工事を施工し、多奈川線などの各支線で運用されてきました。



2200 系車両(譲受した車両と同形式の異なる車両)